

歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材



# あつて ゲット 66 市民の皆さん たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「田代地域(田代老人福祉  
センター、サンピア)」  
H23.3.2・3取材



色鮮やかな彼岸花。カラーで  
お見せ出来ないのが残念！



「みんなで楽しくやつ  
てるよ」と重美さん



バッケ(フキノトウ)が雪解けの地面から顔を出し、暖かな日差しが感じになると、「春がキター！」って心もウキウキしてきますよね。そんな陽気に誘われて、今回のあつてグッドは田代地域を『ぶらり旅』。どんな話が聞けるか楽しみだナーバー！  
と 言って来たものの、まだ雪が残るこの時期、外を出歩いている人なんていない！こりや困ったゾ…とぶらぶら歩いてたどり着いたのは、国道7号沿いに見える「田代老人福祉センター」。主に地域の老人クラブが会議で使うほか、高齢者たちがゲートボール場でゲームをするなど1年を通して利用されていて、隣には「小畠勇二郎記念館」があります。何やら車がたくさん、何をしてるのかなとのぞいてみると、部屋の中は赤、黄、緑など色とりどりの彼岸花がいっぱい！「今日で作業は終わり。明日来ても片付けて何もなかつたから、いい時にきたな(笑)」と声を掛けてくれたのは、高齢者グループ「寿会」会長の虹川重美さん(川反)。聞くと寿会では、秋はお正月用のしめ飾り、冬は彼岸花作りをしていて、今回は会員20人で製作本数はナント、7万本！「一年で制作本数はナント、7万本！」「昨年は結構売れたもんだから、昨年は材料を買い過ぎて大失敗。だから、今年は本数は控えめにしたんだけどな」と重美さん。でも鮮やかな色ですよねー「先輩たちが他から聞きながら研究して作り出した色なんだと。作り方は

秘密だよ(笑)」。最近、若い会員も2人入ったそうで「みんな集まっておもしろい話をしながら作業しているればボケ防止にもなるし、この時間がホントに楽しいんだ。でも、これだけ作つてもあんまりもうけにならないし、みんなボランティアだな(笑)」とのこと。寿会が作る彼岸花は評判がいいそうですから、今年は完売！ですね。

出

来上がった花を6本ずつ束ねて袋詰めをしていった高坂キヌヱさん(桜花)にもインタビュー。この会に参加して10数年になるそうですが「入ったときは一番若かつたけど、最近はよい(容易で)ねぐなった。もう隠居さればならぬかな(笑)」というキヌヱさんは、いやいや、てきぱきとした動きはまだまだ若い。田代地域のゲートボールチームにも所属し、大会に出場するため秋田市や五城目町まで出歩くとのことで、では腕前も相当のもので……「まんづな！アッハッハ」。みんなと話したり笑ったりしていれば一日があつていうキヌヱさん、明日で彼岸花作りも終わるそうだし、早速(ゲートボールの)ステイックの素振りを始めなくちゃね、ブンブン！



みんなで車に乗ってゲートボール大会に行くのが楽しいというキヌヱさん

